すずしろ

～開拓・発展・完成～

５月 第２号

令和３年５月１７日

開進第四中学校だより

校　長　児島　泰彦

緊急事態宣言が延長となり、生徒の活動でも制約が続いています。できない活動としては「近距離で行うグループ活動や少人数での話し合い活動」「音楽における歌唱・管楽器を用いる活動」「家庭科の調理実習」「体育の身体接触を伴う活動」「対面で操作したり、顔を寄せ合ったりした観察・実験や実習」などがあります。このような中でも、できることを可能な形でできるだけ行っております。

＜朝礼の話＞

５月も中旬になり、暑い日差しが照り付けてくる季節となってきました。体調管理には十分気を付けてください。

さて、コロナ禍の状況はまだまだ油断できない状態が続いています。今年のゴールデンウィークも極力外出を控えるべく、家庭で過ごした人が多いと思います。私もほとんど家に閉じこもっていたので、家の大掃除をしました。普段は開けないような本棚の中も引っ張り出して、いらないものと残すものの選別をしていました。その中に教え子たちからもらった色紙が何枚か出てきたので何気なく見てみると、教育実習をした時に担当した学級の生徒たちからのものがありました。そのコメントには「頑張って先生になってください。」「合格したらこの学校に戻ってきてください。」「優しい先生になってください。」などの言葉が書かれていたり、色紙の真ん中には担当教官から「生徒と共に歩む先生になってください。」との言葉をいただいていました。その当時はわずか２週間の実習期間でしたが、初めて担任としての関わりをもった生徒たちとして、今でも生徒の名前と顔が浮かんでくるほど濃密な時間を過ごすことができました。この教育実習での経験があったからこそ、その後にあった教員採用選考に向けた勉強も、「絶対に教員になってやる。」という強い意志をもって頑張れたのだと思います。

教育実習は先生になるための第一歩です。今日から３週間、本校で教育実習を行う家庭科の先生を紹介します。１年Ａ組を担当します。先生にとっても皆さんにとっても濃密な時間になるよう大切に過ごしてください。

また、今日から運動会の練習が始まります。昨年度は中止だったので、２年ぶりの開催となります。内容も見直しを図って行っていきますが、感染予防対策をした上での実施になりますので、皆さんもしっかり意識して取り組んでください。毎日の取組によって体力の消耗も激しくなります。水分もしっかり取るようにしてください。また思わぬ怪我もしやすいので、十分に注意を払って、自分のことだけではなく周りのことも気を配りながら進めてください。

運動会は今年度最初の大きな学校行事です。終わったあとには様々な思い出が残ることでしょう。しかし、思い出に残すためには、そこに至るまでのプロセス、言い換えれば「取り組む過程」が大切になります。どうしたら速く進むことができるのか、どういう掛け声をかければみんなが揃うのかなど練習を重ねることが大切です。はじめからうまくできるわけではありません。何度も何度も失敗を繰り返しながら少しずつ進歩していくのです。もちろん、練習ですべてがうまくできたからといって本番で必ず失敗せずにできるとは限りません。でも練習を積み重ねることによって、みんなに自信が生まれます。そして、チームワークが備わります。このチームワークが、行事を実施する中で皆さんに培われるものなのです。運動会が終わったあと、思い出とともに大きな達成感が得られるよう頑張ってください。